

第 37 回東北建築賞作品賞選考報告

選考委員長 岩田 司

1. 応募作品

- ・小規模建築物部門 14 点
- ・一般建築物部門 19 点
- 計 33 点

2. 選考経過

(1) 事前打ち合わせ会議 2016 年 9 月 7 日 (水) 13 : 30 ~ 15 : 00

於 日本建築学会東北支部会議室

選考委員長の選出、東北建築賞作品賞募集要項、選考委員会規則などを確認した上で、応募作品の数とその内訳を確認した。東北建築作品発表会の運営方法及び東北建築賞作品賞の選考基準などについて事前打ち合わせを行った。

(2) 東北建築作品発表会 2016 年 10 月 1 日 (土) 9 : 35 ~ 17 : 35

於 せんだいメディアテーク 7 階スタジオシアター

第 27 回東北建築作品発表会において応募 33 作品の発表が行われた。限られた発表時間の中でそれぞれのコンセプトが紹介され、発表会は全体として滞りなく進められ終了した。時間厳守にご協力いただいた発表者、諸氏に敬意を表したい。

(3) 第 1 次審査会 2016 年 10 月 1 日 (土) 17 : 30 ~ 18 : 45

於 せんだいメディアテーク 2 階会議室

東北建築作品発表会終了後、会場を移し、現地審査を行う必要のある作品を選定することを目的として、第 1 次審査を行った。小規模建築物部門、一般建築物部門を別々に選考せず、全作品の中から半数程度に絞ることを目標に一人 10 票を投票することとなった。各委員が各々 10 票を投票した結果、得票数順に 8 票～3 票までの 16 作品を第 1 次審査通過とした。なお、審査会に欠席された西脇委員の投票権は無効となった。また、24 番の作品について、小地沢先生は間接的な関与があるため積極的な論評は差し控えるものの、投票することは可能である旨承認された。以上の結果、小規模建築物部門 6 作品、一般建築物部門 10 作品の合計 16 作品を第 1 次審査通過とした。

次に、現地審査は 1 作品につき 2 名以上の選考委員がこれに当たることを確認し、選定された 16 作品について現地審査の分担を決め、現地において確認すべき点を検討し、作品管理者との連絡を含めた現地審査の日程調整は事務局を通して行う事とした。

なお、1 次審査の落選者へは 200 字程度の講評を選考委員分担で作成し、選考委員会として送付することを確認した。

(4) 現地審査

現地審査については11月と12月に選考委員で分担して現地審査が行われた。

(5) 第2次審査 2017年1月28日(土) 13:00~16:30

於：日本建築学会東北支部会議室

まず、岩田委員長より全体の進め方の確認があった。その後、1作品ずつ現地審査担当委員からパワーポイントにより報告を受けた後、現地を確認した担当委員の印象等を確認した。作品についての質疑、審査委員の評価ポイント等についての討議を全審査員で行った。

その後、各委員が作品賞に相応しいと思うもの5作品程度を目処として投票を行った。投票の結果、票が集中した小規模建築部門2作品、一般建築部門2作品を作品賞にする事が決まった。

(6) 選考結果

路地にかかる大軒

【所在地】宮城県仙台市

【設計監理】都市建築設計集団/U A P P

構造：寺戸巽海構造計画工房

照明：ライティングスタジオ LUME

【施工】気仙沼工務店

設備：装建設備

電気：千勝電気

外構・造園：竜門園

西根の家

【所在地】山形県長井市

【設計監理】渋谷達郎+アーキテクチュアランドスケープ一級建築士事務所

設計協力：大類真光建築設計事務所

構造：鈴木啓/ASA

【施工】(株)マル二建工

製材：(有)渡部製材所

電気：(有)手塚電気

機械：(株)遠藤設備

建具：(有)齋藤木工

木製サッシ：アルス(株)

暖房：渡辺ヒーティング(株)

左官：原田左官工業所

内装：(株)尚古堂

弘前市民会館(大規模改修)

【所在地】青森県弘前市下白銀町1-6

【設計監理】建築・設備：前川建築設計事務所

構造：横山建築構造設計事務所

設備協力：ユニ設備設計

音響協力：永田音響設計

地元協力：アトリエタアク

【施 主】 弘前市

【施 工】 建築：堀江・弘和・工藤建設工事共同企業体

電気：弘鉄・デンユウ・村岡建設工事共同企業体

機械：弘水・鎌田・岩木建設工事共同企業体

舞台機構：森平舞台機構

舞台照明：ユアテック弘前営業所

舞台音響：ヤマハサウンドシステム

矢吹町中町第一災害公営住宅

【所在地】 福島県西白河郡矢吹町中町 332

【設計監理】 建築：スタジオ・クハラ・ヤギ+team Timberize

構造：MID 研究所

設備：環境設備計画スタジオ・ランプ

【施 主】 福島県矢吹町

【施 工】 高田工業㈱

(7) 講評

作品賞

【路地にかかる大軒】

本作品は、仙台市青葉区の市街住宅地の西南角地に立地する、夫婦および子供 2 人のための戸建住宅です。設計者がかつて近隣に居住していた経緯を踏まえての発注で、現代では失われつつあるご近所付き合いが残る地区であることを発注者家族と設計者が認識共有していることが、本作品の基礎のひとつとなっています。

南北にリビングダイニングと書斎寝室を配した明解な平面構成です。中央部 1 階のキッチンとエントランスギャラリーそして西側の大きな軒下外部空間とを直線的に連続させ、近隣との関係性を構築しています。またこれらとリビングダイニング・子供室は空間的に一体に接続しながらも、スキップフロアーにより区別とプライバシーの確保がなされています。これらを緩勾配の方形屋根が覆い、大きな一室空間としながらも、キッチンとリビングダイニングには床暖房を設備し快適な温熱環境を合理的に確保しています。

以上のように本作品は、近隣との関係性に配慮した丁寧な設計による高品質な住宅で、東北建築賞作品賞に相応しいものと、結論付けられました。

【西根の家】

この住宅は、現代における雪国の農村集落における住宅のあり方をシンプルに体現していることが評価されました。除雪の負担となっている長い引込み道（序口）を短くし、前面道路と平行に建物を構えることで、伸びやかな屋根の姿が強調されています。外装には杉板が貼られ、杉材の縁側も軒下の心地よい風景を作り出しています。前面道路からの視界は、盛土によってほどよく遮断されていますが、垂木が表しになった室内からの空間的な広がりには十分に確保されています。建具の納まりがディテールまでよく検討されていることも評価されたポイントの 1 つです。加えて、この住宅にはペレットストーブや地元メーカーの木製サッシが採用されていますが、冬季の温熱環境やコスト、夏季の風の抜けや

開け放たれた窓辺の風景など、適切に考慮されていることも好感が持てました。ストーブ、木製サッシ、散水消雪システムは、設計者が過去の数々の住宅設計でも試行錯誤しながら採用してきた経緯もありますが、西根の家はその集大成のような位置付けであるようにも感じました。

【弘前市民会館（大規模改修）】

弘前市には前川國男のフランスからの帰国直後から最晩年に至るまでの多くの作品が残されています。それぞれが市民により愛され現在でも大切に使われています。本作品は 1964 年に竣工した前川國男設計による公会堂の、前川建築設計事務所による大規模改修です。

50 年の歳月は、コンクリート打放し仕上げ躯体等の経年劣化のみならず、現代の建築として備えるべき機能と性能の不足を招きました。改修にあたっては、強度とともにコンクリート打放しの表情を蘇らせる躯体補修、オリジナルの窓サッシを活かした開口部改善、従来の音響を大きく変えないホール客席交換、ホール照明の LED 化と調光システム導入、違和感なく備えられた EV 新設、空調システムの現代化、屋上への PV パネル設置の工夫、照明器具や家具類そして色彩の復元等々がなされ、原設計への敬意に満ちたきめ細やかな配慮が随所に見受けられます。

作品そのものの建築的価値に加え、このような大規模改修を実現させた発注者・弘前市ならびに設計者の建築文化向上への貢献を評価し、東北建築賞作品賞に相応しいものであると結論付けられました。

【矢吹町中町第一災害公営住宅】

公営住宅の設計は整備基準の制約を受けがちですが、この住宅では町と連携しながら数々の設計提案を実現に移しています。提案の 1 つである集成材厚板パネルは、バルコニー周りの構造提案であるとともに、リビングアクセスの住戸タイプにとって肝心な中間領域の形成に効いています。通路側からみると軒下には個人領域が楽しげに溢れ出し、住戸側にとっては長い軒が心地よく、その先の通路までのほどよい距離感を形成しています。住戸内に入ると、玄関からの奥行きが十分に感じられることに加え、その直交方向にも空間的な広がりを感じる構成となっています。ちなみに、この住宅は震災後に町が奥州街道沿いに計画した複数の公共施設の 1 つであり、町の南側の入り口に位置しています。その中で、他の施設とのデザイン的な調和や空間的なつながりも十分に考慮されており、街道を行く人びとの温かさに触れながら生活できる環境が生み出されています。この観点からも原発事故により他市町村から移転してきた方々にとっての住まいとして十分なものであると評価しました。

第 37 回東北建築賞作品賞選考委員会

- 選考委員長 ・岩 田 司 東北大学災害科学国際研究所
委 員 ・最 知 正 芳 東北工業大学建築学科
・飛ヶ谷 潤一郎 東北大学大学院工学研究科
・西 脇 智 哉 東北大学大学院工学研究科
・大 野 晋 東北大学災害科学国際研究所
・茂 木 聡 株式会社ライフデザイン建築研究所
・竹 内 泰 東北工業大学建築学科
・渡 辺 浩 文 東北工業大学建築学科
・小地沢 将 之 仙台高等専門学校建築デザイン学科
・村 田 良 太 有限会社村田弘建築設計事務所
・野 村 俊 一 東北大学大学院工学研究科